

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	オリープハウス（放課後等デイサービス）				公表日	2025 年 4 月 30 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	・状況に応じて一階と二階にわかれスペースを確保している。 ・活動に応じてスペースを確保するように工夫はしているが、利用児童の年齢が様々であり、難しい時も多々ある。 ・利用者が多い時は、少し狭く感じる時がある。	必要に応じて環境を整えていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	・職員の欠勤が出た場合は、同法人から応援要請をして人員を補充している。 ・派遣職員等で職員の配置が確保できるように工夫している。	子どもの特性の加減等で応援職員の補充があるも、十分でないと感じることがある。急な職員の欠勤の際の職員確保が課題である。また子どもの対応においての、各職員のスキルアップが必要な為、研修等でスキルアップを目指していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・視覚的にわかりやすいイラストや文字を各場所に貼っている。 ・ロッカーや洗面台など、児童が使いやすいように踏み台などを使い工夫をしている。 ・バリアフリー化はされていないが、トイレや階段に手すりをつける等の工夫をしている。 ・子ども達が見通しを持てるようにホワイトボードに1日の流れを記入していたり、ロッカーには個々の名前を貼り分かりやすくしている。 ・学習室や個室を使用する場合は2階に上がらなければならないが、階段がありバリアフリーの構造ではないが、階段の昇降に付き添いや見守りを行っている。	環境面でバリアフリーではない所は、子ども達が社会の中で日常生活を送るうえで、自己防衛力等の練習の場になるように活用していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日の掃除、消毒を行い、子ども達が過ごしやすいように活動内容に合わせて室内の机やおもちゃ箱の配置を変更している。 ・こどもの状況に合わせて空間を区切ったりの工夫を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・状況によってクールダウンスペースや個室の学習室を使用出来る。 ・学習時に集中を欠く児童などには声掛けし、学習ルームに促すなど行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・非常勤職員も含め全員で業務改善に努めている。 ・申し送り等で振り返りをおこない、職員間で情報交換を行っている ・会議内で職員同士の話し合いを行っている。 ・毎日の申し送りで振り返りを行い、改善点を話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に1回アンケートで評価表を提出していた だき、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎朝の申し送りや定期的な会議、面談等で意見を把握し業務改善に繋げている。 ・会議内、または日常の会話のなかでもそれぞれの意見を言い合える環境になっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	20%	・保護者様にアンケートを取り、意見をお聞きし改善に繋げている。	第三者評価は実施しておりませんが、今後も保護者様からのご意見から業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・定期的に参加できる機会がある。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	60%	40%	作成し公表済み	ホームページに公表しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・各職員の見立てや子どもから直接聞き取りしアセスメントを取っている。保護者とは面談を経てアセスメントを取っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・管理者と支援に関わる職員が定期的に会議等で話し合う機会を設け、本計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・支援に関わる職員は計画内容を把握し支援に努めている。 ・個々の児童に必要なツールなどを作成し計画に沿った支援を行っている。 ・共通理解をして支援を行っている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	0%	・ニーズの整理表を使用している。 ・日々の行動観察はケース記録に残し、アセスメントで使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・各項目に沿った計画を設定している。 ・年2回の面談前にチームで会議をし、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・会議等で話し合いチームで立案している。 職員が各々考えたものをそれぞれ案として提示しチームで立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・毎月の会議でプログラムを決めて、固定化しないよう工夫している。 ・曜日ごとに活動内容を変更している。 ・休日や長期休みは各々で立案し固定化しないようにしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個々の発達に合わせて支援を行っている。 ・設定療育の中で、集団と個別の活動が行えるような工夫を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・朝の申し送りや打ち合わせをして1日の流れや具体的な支援の方法などを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・送迎後や翌日の申し送り時に振り返りをし、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日ケース記録を取り、検証・改善につなげ、質の向上を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・年2回管理者がモニタリングを行い、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	80%	0%	・ガイドラインに基づき、複数組み合わせ合わせてプログラムを行っている。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・子どもに聞き取りを行い自己決定できるよう努めている。 ・自己決定する力を育む為に、設定療育の中で考えて選択をしていく場面を作っている。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・基本的に管理者が参加しているが、参加前に職員への聞き取りも行い、直接支援の職員の意見がしっかりと反映できるように行っている。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	20%	・協力医療機関等と連携が取れるように体制を整えている。 ・連絡会を通じ、教育、福祉、子育ての行政機関との話をする懇談の機会を頂きました。 今後も体制作りのための、関係作りを行っていきます。	今後も体制作りのための、関係作りを行っていきます。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%	・基本的に保護者を通して確認している。緊急で必要があれば直接学校と連絡を取る事もある。 ・迎えの時間に遅れそうな時は学校に連絡し、適切に対応している。	近年、個人情報の取り扱い等で地域の学校と下校時間の情報共有が難しくなってきている。保護者の方から正しく情報をいただけない事もあり、送迎の連絡調整にかなりの時間を要していることに課題を感じています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60%	20%	・当事業所を利用する前に利用していた保育園にお子様のご様子をお聞きして情報共有をしている。 ・管理者が通園施設を訪問し、先生からお話を伺い情報共有している。	園との情報共有がなかなか出来ておらず、保護者を通しての共有のみとなっており課題に感じています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%	20%	・作業所等に移行する際は移行先に情報の提供をしている。	今後も引き続き行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40%	20%	・センターからの研修の案内があれば参加している。自立支援協議会や連絡会の中でセンターの園長と顔の見える関係の構築に努めている。	連絡会等を通して、センター主催の研修に参加をさせていただき講師の方から質疑の中で助言受けましたが、個別のケースなどに対してのスーパーバイズを頂けるような機会や連携が取れていないのが課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	・地域の方を夏祭りにご招待したり、地域イベントに参加をする等、地域の方と交流を図る機会を設けている。	今後も地域の方との交流を図れるような活動をしてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	40%	0%	・法人代表が自立支援協議会の委員に選任されており参画している。管理者は児童部会の招集があった時は積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・面談や送迎時に保護者様に日頃の様子をお伝えしている。	限られた時間の中でお話ししなければならず、面談技術等の向上が必要だと感じている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	0%	・家族が参加できる研修の機会や情報提供を行っている。今年度は性教育講座を外部講師を招き年間計画で実施しました。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に説明させていただいている。今後も丁寧に説明していくことを心がけていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・アセスメントをとって子どもや保護者の思いを聞き取っている。 ・年2回の面談で意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・同意を得ている。必要であれば内容の変更も行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・保護者様からご相談があれば助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・イベントへの参加と並行して保護者会を行う等、参加して頂きやすい環境設定を工夫している。 ・年1～2回保護者会を開催し保護者同士の交流の場を設けている。 ・保護様、ごきょうだいも一緒に参加できるイベントを開催し交流できるようにしている。	参加していただける方が限定的になってしまう事が課題。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情があった際は上位者に報告し、迅速に対応できるようにしている。 ・ご意見として頂いた微細な内容も、管理者に報告し情報を上位者が把握できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・インスタグラムやホームページで活動報告や行事予定を発信している。 ・予定変更になった場合はLINEで適宜お知らせしている。	情報を更新していくことが業務の圧迫になることもあり課題
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報に関わる書類等は必ずシュレッダーで処分をするようにし、細心の注意を払っている。 ・運行表を車内で管理するとき等は、外部に氏名が見えないように裏向けて管理するなどマニュアル化している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・視覚的に分かりやすいように、絵カードの使用、必要に応じて筆談なども取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・夏祭りでチラシをポスティングし地域の方を招待する活動をした。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・保護者様には契約時にマニュアルを配布し保管頂いている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・年に数回、防災訓練を実施し、避難場所へのルートの確認や防災訓練は定期的に行っている。 ・非常災害に備えてBCPを作成している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・職員間で情報を共有し周知している。 ・契約時や年度替わりに必ず確認するようにしている。また変更があれば保護者から伝えてもらうようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・現在対応児童はいない。対応児童がいる場合は服用する薬の説明書と共に保護者の指示に従い行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・契約時に安全計画及び安全に関する取り組み内容を説明し、周知を図っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%	・安全計画の作成をし、保護者がいつでも閲覧できるように使用ソフト内で公表している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ミーティングや申し送り等で周知し、対策や対応について再発防止に努めている。 ・ヒヤリハットがあった場合は記録を残し、事業所内で共有し再発防止に努めている。 ・虐待防止委員会の中でも共有し、法人内でも把握している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・定期的な研修に参加する機会がある。 ・当日参加できない職員は動画配信で必ず人権擁護の研修は受けるようにしている。 ・虐待防止委員会を年2回開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・保護者に丁寧に説明し、理解を得た上で身体拘束の同意書を提出して頂いている。 ・対象児にやむを得ず身体拘束を行った場合には必ず記録にも残している。	手をつないで買い物に行くなど、どこまでの範囲で同意書が必要なのか、検討中である。	